



# ひびき

◆豊かなかわりを  
求めて  
自分の可能性を拓く  
子ども

## 1学期始業式（4/7）講話より

校長 渡邊 芳久

（略）

新型コロナウイルス感染予防のため、始業式の話は、リモートで行います。

今日から、一ノ木戸小学校令和3年度の1学期がスタートします。今年度の一ノ木戸小学校のスローガン、合言葉は昨年と同じ「かがやき合う」にします。

「かがやき合う」ということは、自分一人だけではできません。誰かと誰かが一緒にかがやかなければ、「かがやき合う」とは言わないのです。私は、626人の全校のみなさんと先生方、全てがひとつになって「かがやき合う」姿を見たいと期待しています。そして、できれば、学級や学年の友達や全校の仲間をかがやかせることのできる人にもなってほしいと願っています。そういう人が多くなれば「かがやかせ合う」ことのできる一ノ木戸小学校になっていきます。

次に、新型コロナウイルス感染症のお話です。

みなさんも、ニュースやお家の人の話などから知っている通り、三条市でも、新潟県でも、そして日本全国でもまだまだ新型コロナウイルス感染症はおさまっていません。ですから、これからはしばらくの間は、今までと同じような対策を取り続ける必要があります。

まずは、できるだけ自分が感染しないような行動をすることが何よりも大事です。そして、自分は元気だけれど、もしかして感染しているかもしれないと考え、他の人にうつさないような行動をすることも大切なことです。みなさん自身の命はもちろん、みなさんの家族や大切な人の命を守るため、マスクをつける、窓を開け換気をする、手洗いをする、給食は前を向いて食べるなどはしっかりと守りましょう。授業中や休み時間も濃厚接触（知っていますよね？）、3密をできるだけ避けるようにします。また、それぞれのお家で、毎朝熱を測ることも続けます。先生方の言うことをしっかりと聞き、みんなでがんばりましょう。

でも、我慢をして過ごすばかりでは、元気がなくなり嫌になってしまいます。やっていいことの中から、楽しめるものを生み出し、みんなで仲良く元気に過ごし、かがやき合ってほしいな、と願っています。

運動会や5年生の自然教室、6年生の修学旅行などは昨年度と同じようにやりたいと考えています。

しかし、みなさんも昨年経験したように、突然、臨時休校になるなんていうこともあるかもしれません。そんなときでも、626人のみなさんと先生方で力を合わせて、励まし合って「かがやき合う」学校をめざしていこうと思います。

そして、もしも不安を感じるなどがあったら、そんなときは、ぜひ、声に出してください。家族や先生方、友達に相談してみてください。みんなで一緒に頑張っていきましょう。

（略）